

主 内 容

力強い再生を	1面
都歯連役員来館	1面・6面
地の塩	1面
座談会	2～5面
都歯連青年部報告	6面
コーヒースタイル	6面

発行所

葛飾区歯科医師連盟

東京都葛飾区青戸7-1-20

電話 03(3602) 0648・(3603) 2691

編集発行人 神代達司

印刷所 一世印刷株式会社

葛 歯 連 盟 広 報

難局へ打って出る力強い再生を

不祥事の反省と会員の結束をバネに

日歯連の回生に全力を注ごう

神代会長、二期目の会務執行も残すところあとわずかとなった。
会員の皆様のご協力に厚くお礼申し上げる。

低迷する日本経済の影響を大きく受けて、物づくりとして日本経済の発展を支えて来た葛飾区の実力は活躍の場を失い、元気を欠いている。
西高東低の経済格差があいかわらず改善されないまま、不況下突入し、葛飾区は経済はもちろん、行政力を弱めているのが現状ではないだろうか。

かつて、小日向区長の掲げたスローガン「水と緑のゆたかな町づくり」は地域の個性を尊重した基本理念のもとに、住民の福祉、教育、健康増進を政策の柱に町づくりがなされて来た。

やがてそれは、「若者が住みたくなくなるような町づくり」とへと発展し、葛飾区的生活環境の基盤整備の充実計画へと向うが、今日、税収入の落ち込む葛飾区の行政にあつては、福祉教育、医療など、予算化を前に、時に、苦渋の選択を強いられる事は想像に難くない。

予算の縮小は国や町の活性化を奪いもし、商店街のシャッター通り化に拍車をかけている。若者のみならず誰れもが住みたくなくなるようなそんな葛飾区は遠くなるばかりである。

歯科医業の経営も、区民が

安全で快適に住める、豊かな町、住みよい町があつてこそ生業であり、地域医療の確立、充実もその一点に深く関わっている。

当葛飾区歯科医師会ではこれまで、休日応急診療、一歳半健診、三歳児健診、更には昭和五十六年以来、心身障害児(者) 歯科診療(ひまわり歯科診療所)に従事し、平成二年からは寝たきり老人歯科診療(たんぼ歯科診療所)を開始し、地域医療の事業の輪を広げて来た。手厚い葛飾区の支援を頂いた地域医療活動であった。

これらの活動の充実は、ひとえに経済の活性、予算の充実にかかっていると言わざるを得ない。

地域医療活動の低下をきたす事にならぬよう本連盟は葛飾区歯科医師会と共に行政に働きかけ、医療行政の現状維持、更には一層の充実をはかりたい。

さて、このたびのいわゆる日歯連事件については、会員諸氏にあつて、それぞれの感慨があるかと思われる。日常化した問題ととらえる人、あるいは日歯連はじまって以来の不祥事に心を痛める人、事件を契機に日歯連の退会を考えている人、いろいろである。私達の生活は政治を離れては考えられない。

食事に排他にも更には恋愛にと、政治が深く関わる日常である。

平成十六年四月十四日、日本歯科医師会会長他四名が贈賄容疑で逮捕されるという未曾有の事件に遭遇した。

四月二十五日の日歯広報紙がこの不祥事件を報じたが、紙面より伝わる驚きや戸惑いがその後の日歯の混乱ぶりを想像させた。突然とはいえ会務の停滞はゆるめられず、急きよ、井堂会長代理が選出され、対策本部が設置されるなどあわただしく、誰もが晴天の霹靂に驚いた。

事件には絶えず医師会の大きな蔭に甘んじて来た歯科医師会の悲願達成へのあせりが垣間見られてせつない。昨年は日本歯科医師会の百周年を祝い喜んだが、誰がこのような事態を予測しただろうか。何故にこのような事に至ったのか。長い間、医科との医療費格差の是正に腐心してきた努力も残念な結果になってしまった。

事件の容疑のあらましは次の通りである。

政治資金規正法違反、中医協委員らにかかわる贈収賄、日歯会長選挙にかかわる業務上横領など。

国民の信頼を失墜させた責任は重く、職域代表の笹井ひろふみ氏を国会に送る事が出来なかったことなど、会員の連盟離れのささやかれる最中、信頼関係に決定的なダメージになりかねない不祥事は無念だった。

日歯、日歯連の峻別により、それぞれ新会長が選出され再生を誓う抱負の中で国民の信頼回復を第一に上げ、その他会計処理の透明化、事件真相の解明、会費の値下げなどを公約し、窮状打開の道を探る姿勢を示したが、日歯の抱える難しい諸問題は未解決のままである。

生涯研修、需給問題、会員の減少、新たに浮上してきた混合診療や中医協の解体問題など、難問が山積している。

診療報酬の医科、歯科の格差はもとより、医療保険制度の歪みの是正、関係法律の整備、改正を正面から取り組む姿勢等に歯科医サイドにかたよった視線がなかったのか、国民サイド、患者サイドに立つ視点からの改正がなされたのか、反省はつきない。

組織を利用することを金科玉条に会員の声を軽んじて来た感否めない。

連盟の上意下達的な組織運営を印象づけるような仕方にも会員の不満はつる。

の凍結を申し合わせ、意見書と共に都歯連へ提出し、回答を求めた。

再開し、相互理解を深めるに至った。意見書は別掲の通り。

都歯連

会長以下七名役員来館

別掲の意見書を昨年八月に都歯連へ送達。又、日歯連、都歯連会費凍結を理事会決定。

長、蒲池元春専務理事、大谷修作常任理事、勝俣文良理事という錚々たる役員が遠路来館され次の回答を得た。

その回答を九月の理事会までに文章にて郵送を希望したところ、文章のみでは誤解を招く恐れがあると、都歯連より柳澤信道会長をはじめとして、大曾根正史副会長、茂木昇副会長、三木禎郎副会

長、蒲池元春専務理事、大谷修作常任理事、勝俣文良理事という錚々たる役員が遠路来館され次の回答を得た。

一 会員の日歯連、都歯連の混同に関し、一切の嫌疑も受けておらず、七社の報道機関にも説明済みであり、組織の規模からも都歯連と今事件とのかかわりの皆無の説明がなされた。

(六面へ続く)

地の塩

診療所の近くの小学校は、地元でも古くからある学校として知られている。その正門に、オレンジ色の眩しい外灯がつけられていて、あたり數十メートルを真っ赤に染めている。道路向かいの家の白壁も、赤い壁にしか見えない。それはまるで、連盟の一連の事件に対しての社会の目のようである。

テレビの野球番組では、某選手の入団に際しての車代と称した裏工作に対する意見として社会正義を掲げ、アンフェアな交渉事例として、連盟という名前を出さないもののすぐわかるような引き合いを出していた。これもまた当然である。

個人的な意見だが、日歯以外、峻別・別の会等の意見は、白壁に白いペンキを二度塗り三度塗りしている様にか見えない。メルマーク、スクリーニングとして、若い歯科医の意見を重要な事だと認識するのが大事なのではないだろうか。

若い人は正直である。アナクロで閉鎖的な匂いのする団体へは誰も近づきたがらない。会への入会率の低さ、開業率の低さから推察すると、卒業後五年十年のクラス会では、百人中入会者は四、五人位ではなからうか。話題にも上らないと言いたい訳である。

即効性のある団体解散、または名称変更というのが世間的にはわかりやすいが、執行部の顔ぶれもそのままでは望むべくもない。せめて、次の世代への架け橋となるような魅力ある行動を展開してもらいたい。戦後のロッキード事件、佐川急便の事件などと並べ称され、たびたびマスコミに登場することだけは勘弁してほしい。



東京都歯科医師連盟
会長 柳澤信道先生

平成16年8月11日

葛飾区歯科医師連盟
会長 神代達司

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は本連盟の運営にご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、本連盟理事会の貴連盟に対します意見を以下に挙げさせていただきます。

- 1 会員は、貴連盟を日歯連盟と今回の事件に関し、同一視している。会員に対し、ちがいを明確にする必要がある。
- 2 そのためには、貴連盟は、日歯連盟に対し、今事件に対する対応を強く申し入れるとともに、そのことを全会員にアピールする必要がある。
- 3 また、具体的には、貴連盟と各地区との関わりを機密にし、多くの施策を全会員に周知徹底する。
- 4 その方法として、全会員に文章として示すことと、現執行部が各地区の理事会に出席し、現状を説明することが必要と考える。

以上をお考えいただきたいと、心よりお願い申し上げます。

尚、9月10日(金)の当理事会において、葛飾区歯科医師連盟の基本的対応を決めさせていただきたいため、本件に対します貴連盟のご回答を郵送していただきますようお願い申し上げます。 敬具

を再生の連齒日

の声を担う会員

平成十六年九月二十九日
座談会

出席者

古 宮 秀 記 氏
島 田 雅 章 氏
篠 原 保 行 氏
高 橋 昭 成 氏
大 森 良 一 氏（司会）

日歯連事件として連日のマスコミ報道は元総理を巻き込む騒動にまで発展したが、政治資金問題や贈収賄事件に深く関わった日本歯科医師連盟の責任は重い。長い連盟活動の歴史に汚点を残した。会員達はこの日歯連事件をどのように、とらえているのだろうか。若い会員達に集まって頂き忌憚のない意見を伺った。

司会（大森） 今回、連盟のことが取り上げられています、どういふことでこういうことがあったのか、よくおわかりになっていない方が大半だと思えます。しかし、マスコミからの情報は聞いていると思えますし、たぶん皆さんそれぞれいろいろな思いがあると思えますので、まずその辺についてお聞きしたいと思います。

高橋 本当のところが全くわかっていなくて、憶測に憶測を重ねて物は言えないので、差し控えてさせていただきますと思います。

「連盟の存在意義」

古宮 秀記氏



古宮 私は臼田先生と日大で会って以来、いろいろなことを思っています。みんなのために、だんだん権力が集中するようになってしまったのかなと、いろいろ考えることが多いわけです。こういうことを機会に、今まで不透明だった部分も公にすべきところはないと、連盟の存在意



不祥事になったんでしょう。これは想像ですが、昔は恐らくもっといろいろなことがあったのではないかと思います。いま透明性を言うのであれば、そこに対しての成功報酬のようなものが図られるべきではないかと思うんです。そのために政治のほうに動いていくのは納得いかないところがあります。だから、臼田先生が一人で何かを設けてしまったということではないと思うんです。

司会 ただ、マスコミでは、私的にも流用していることが取り上げられています。篠原 収賄事件の私の感想は、歯科医師並びに歯科診療の費用に対する国民の信用を失ったということで、大変悲しい事件だったと思います。同時に、これから点数改正時に診療報酬の正当な評価を受ける努力がかなり必要になってくると思います。

それから今回の事件は、政治家と官僚だけ見ていて、患者である国民サイドを全く見ていなかった。自分たちの組織の利益だけを追及して破綻していったという感じがします。

司会 こういうことをしていても、これだけの点数しか取れないということが現実にあります。だとすると、今回こういうことになって、連盟からのアプローチで政治家の先生たちが動いてくれないと、これからどうなるのかなと、不安に思うところがあります。

篠原 歯科医師は票田としては少ないですから、国民の支持基盤に立った活動をしていかないといけない。私の考えだと、選挙のときに政治家

は資金のある歯医者を見ていなければならない。票田の多い国民側に立った行動をして、当選してしまえば、また資金のある歯医者のおかげで見るといふ感じがすごく強いんですよ。

司会 確かにそうですね。

篠原 求めているところが別だとは決して思わないんです。歯医者の利益だけではなくて、国民に充実した歯科医療を提供することによって正当な評価を受けて、診療報酬の点数も上げてもらうという活動をしていけば、国民にもきつと受け入れられるのではないかと。

司会 確かに歯科の場合はほとんどが、内科とか皮膚科の治療のように、薬を出して治しているわけではありませ

ん。だから、それなりの評価を持つてもらわないと、これから先どんどん目減りしていく可能性も出てきます。周りに歯医者さんが多くなってくれば、当然患者さんも減ってきます。なおかつ保険点数が下がってきてしまうと、困ります。古宮先生、そこら辺はどう思われますか。

古宮 国会の場には地域の代表が集まっています。また、歯医者の代表だけでなく、お医者さんの代表もいるし、不動産業界が推薦している人もいます。いろいろな人がいます。例えば地域の代表なら、その地方にどれだけの国家の財政を持つてくるかというところから出発していると思うんです。ですから、業界の代表は絶対必要だと思うし、代表をなくしたら、それを訴えてくれる人がいなくなってしまうと思うんです。

今までも、例えば根管治療で、これだけの適正評価

が必要だという研究や論文の発表がたくさんあったにもかかわらず、保険の財源自体が不足しているのに、シェアを守ることが非常に大事だと思うんです。今回のこういう事件があったから、そういうことをなくすということではなくて、訴え続けていかないとだめだと思います。それは誰もやってくれないわけですから。

連盟に関しては、日本歯科医師連盟から始まって、東京都があつて、葛飾区があつて、その一番の長があつたことになってしまったんですが、連盟活動を一緒にたにして考えるのも間違っていると思ひます。

司会 連盟は、私に言わせると、会費を取られるけれども、実際にどういふことをやっているのかよくわからないところがあります。高橋先生、連盟のやっている内容を把握されていますか。

高橋 会計を含めて何もわからないので、コメントのしようがありません。

司会 私は、選挙のときに

篠原 職域代表を出したり、活動に賛同してくれる議員に献金して応援しているという感じで見えています。今回の献金は額がすごいですが、その地方にどれだけの国家の財政を持つてくるかというところから出発していると思うんです。ですから、業界の代表は絶対必要だと思うし、代表をなくしたら、それを訴えてくれる人がいなくなってしまうと思うんです。

「今こそ体質改善を」

篠原 職域代表を出したり、活動に賛同してくれる議員に献金して応援しているという感じで見えています。今回の献金は額がすごいですが、その地方にどれだけの国家の財政を持つてくるかというところから出発していると思うんです。ですから、業界の代表は絶対必要だと思うし、代表をなくしたら、それを訴えてくれる人がいなくなってしまうと思うんです。

名前を書いてくださいということぐらいで、あとは何をやっているかはつきりとわからないです。島田先生はどうですか。

島田 私も連盟が何で動いているかわからないんです。歯科医師会の先生方がよいい診療報酬とか、いい環境をつくっていくための連盟であり、そのために国会に我々から推した先生を押し上げて、その先生の見返りみたいなものが受け取れる、ぐらいのことしか思っていないんです。その先生は一生懸命やってくれるという半分お約束みたいな形があるから、みんな推そうかなと思っているわけです。

司会 ただ、連盟が推している政治家の先生たちは、お願いをしても、それに付随することをあまりよくやってくれないとか、行動に移すのがすごく遅いとか、そんなことを確かマスコミから聞きました。篠原先生は連盟の活動をどう考えていらっしゃるのか。

篠原 職域代表を出したり、活動に賛同してくれる議員に献金して応援しているという感じで見えています。今回の献金は額がすごいですが、その地方にどれだけの国家の財政を持つてくるかというところから出発していると思うんです。ですから、業界の代表は絶対必要だと思うし、代表をなくしたら、それを訴えてくれる人がいなくなってしまうと思うんです。

篠原 職域代表を出したり、活動に賛同してくれる議員に献金して応援しているという感じで見えています。今回の献金は額がすごいですが、その地方にどれだけの国家の財政を持つてくるかというところから出発していると思うんです。ですから、業界の代表は絶対必要だと思うし、代表をなくしたら、それを訴えてくれる人がいなくなってしまうと思うんです。

篠原 職域代表を出したり、活動に賛同してくれる議員に献金して応援しているという感じで見えています。今回の献金は額がすごいですが、その地方にどれだけの国家の財政を持つてくるかというところから出発していると思うんです。ですから、業界の代表は絶対必要だと思うし、代表をなくしたら、それを訴えてくれる人がいなくなってしまうと思うんです。

篠原 職域代表を出したり、活動に賛同してくれる議員に献金して応援しているという感じで見えています。今回の献金は額がすごいですが、その地方にどれだけの国家の財政を持つてくるかというところから出発していると思うんです。ですから、業界の代表は絶対必要だと思うし、代表をなくしたら、それを訴えてくれる人がいなくなってしまうと思うんです。

これを機会に
次世代を



「未入会会員の増加」

篠原 連盟に余り興味を持っていない先生が多いと思うんです。私もその一人だと思います。それで、座談会までに、あわてて連盟の規約を読んでみたりしました。連盟の活動に興味がわくように、わかりやすい広報や啓蒙をしていく必要があると思います。会員の先生が連盟の活動に興味を持つように、何かしら努力していかないとけないんじゃないか。会員も責任を持って、連盟の広報紙などなるべく読むようにしていかなないと、どんどん離れていってしまうのではないか。

それから多くの会員の先生がこういう厳しい状況の中で何とか変化して自分の診療室を守ろうとしています。歯科医師会も、連盟も、体質を変えて変化していかないと、生き残っていけない気がします。連盟訴訟を見ると、地方は封建的と言ったら間違っているかもしれないですが、鹿児島などで訴訟が起こって、入会している先生が退会の活動をしていきます。ホームページを見ると、三枚の紙に署名捺印して日歯に送りさえすれば退会できると書いてあります。東京都のことを考えると、新規指導が五人に一人とか四人に一人と言われている。二〇％か三〇％ということとは、もう常識ではないということなんです。入っていない先生方から見たら、入るほうが非常識なわけです。そのぐらい危機感があります。一つには、歯科医師会に入会することの必要性和か妥当性を認めていないのかもしれない。あるいは声は発しないけれど

下げることに對する説明が必要で。なぜこの金額に下げられるのか。不祥事があったから下げるだけでは、納得してもらえないと思います。

司会 今までは多く払っていたことになると、周りの人たちは思いますね。

篠原 そういうところに必ず説明が必要になると思います。そういうことをしていけば、理解が得られるんじゃないか

「会費の妥当性」

島田 亀有にも、日本歯科医師会、東京都歯科医師会に入っていて、どこかで代診をやっている、葛飾区歯科医師会には入れないんだけれども、亀有歯科医師会には入り

たいという女の先生がいます。開業したばかりで、葛飾区歯科医師会のハードルが高いから、もう少しお金をためてから入りますという話でした。そういうのはちょっとかわいそうだなと思います。入りたいのに、昔からの先輩たちのハードルがあるから、入れない。会の仲間になりたいというの、それだけの気持ちを持っていてということだから、少しでも飲み取ってあげられるように、「開業したては大変だから、いざれ返してね」という方策があってもいい。そうすれば、その人も入れるという気がしました。それから今はないかもしれないんですが、新設歯科大学の十四校会に行ったときに、

司会 私は、歯科医師会の入会金をもっと引き下げてもいいんじゃないかと思いい入ってもらったほうが先行きはいいいわけですから。

篠原 聞いたところによると日歯連盟も会費の値下げを検討しているということでした。下げるときには、今まで払ってきたわけだから、

いかと思います。

話は変わりますが、大学で講義を行なっている先生に話を伺ったら、大学に行つて、概論の中で歯科医師会の活動を六年生に説明して、それ相應の負担と活動をしてもらいたいという話をしてきたと。

それを伺って、広報活動や啓蒙は大事なんだろうと思います。

魅力があつて便利という意見がすごく出てきていました。十四校会の集まりは、みんな歯科医師会に入っている先生方なんだけれども、両方に入っている先生もいます。歯科医師会に入らなくても、

そっちに入っていれば安心だとか、歯科医師会に入ると、八時過ぎや九時過ぎまで診療をやっていると、やってはいけないと言われるが、保険医協会は特に規制がないから、夜八時過ぎだろうが、何時だろうが、やっていたりする、保険医協会のほうが気軽なので、そっちに行つてしまふという話を聞かせてもらいました。

司会 話が連盟から離れていますが、歯科医師会について思うことはありますか。高橋 歯科医師会と連盟が自分にとってどれだけ大切なものかわからないんですが、



高橋 昭成氏

これを今後も存続させたいとしたら、新入会員を増やさないわけですね。今どきどき離れていますから、個人的心情としては、非会員のレセプトの審査基準目いっぱい厳し

「地域医療活動のアピール」

古宮 非会員の先生は、休日当番もないし、「ひまわり」「たんぽぽ」にも協力しません。会員でも協力しない先生もいますが、果たしてそういう非会員の先生が地域医療に貢献しているかという

と、会員の先生からすれば、来た患者さんだけで利益を上げて、私利私欲のために仕事をしているんじゃないかと思えないんです。そこで連盟としては、区民、都民、国民のためにこういう活動をしているんだというアピールをしていかなないとだめだと思うんです。

また新入会員を増やすには、金町のある先生が、歯科医師会で考えているレセコンのフォーマーケットを基準ソフトとして開発して、それを会員に安く提供すればいい。そのレセコンのチェックがなかったら、返戻を受けることなく、スムーズに通りますというソフトを組み立てて、普通なら何百万もするものをレセコンソフトを、会員になれば安く購入できるようにする。大変なこともみんな分け合つてやっているんだけれども、そういういいことがたくさんあるんだというふう

に持つていかないと、新入会員は絶対増えないと思います。たしか入会金は分割できるようにしたんですね。話がちょっとずれてしまふんですが、金町の駅前の今まですず銀行だったところに

くて、返戻をがんがんやって、いや応なしに歯科医師会に入会させるように仕向けるのが手っ取り早いと思います。

有小学校に仲良し学級があつて、その子供さんがうちに来てくれたりします。その子供さんはどこかの健診に行つたときに断られて、結構遠いところまでお母さんが連れていったんだそうです。たまたまうちが校医になったもの

すから、「診てもらえますか」と言うので、いいですよと言って診させてもらったわけなんです。だから、身近にそういうものがあるんだな、歯科医師会の先生だからやってくれるんだなというアピールが必要だなと思いました。余りにもみんなが知らないと思う

単なる当番医だからやるというのではなくて、「たんぽぽ」や「ひまわり」を土日に一生懸命やって、訪問もやっているんだから、葛飾区歯科医師会はそのいうふう

にやっていますよというアピールがどんどんあつていいんじゃないか。そこが非会員と会員の差別化になるんじゃないか。区民の皆さんが「歯科医師会に入っている先生だから、安心だわ」とか、「歯科医師会に入っている先生だから、親切にやってくれるわ」という見方をして、歯科医師会の先生のところに行こうという気持ちになれば、おのずと非会員の先生も歯科医師会に入りたくな、入らせてくださいという形になつていくと思うんです。歯科医師会がこれだけ区の中核で一生懸命やっているんだぞということをアピールするのも一つじゃないか。その辺の宣伝が下手かなと感じています。

「歩み」を見ると、こんなに何年もやっているのに、知らない患者さんがいる。ましてや「葛飾方式」という言葉

があるにもかかわらず、区民の人たちが知らない。中野から新しくそういう施設をつくらうとして勉強に来るわけでしょう。そういうものがある

「政治活動をオープンに」

篠原 これからの連盟活動としては、積極的にわかりやすく広報活動や啓蒙をする必要があると思います。レセプト用紙にしても、連盟が活動した結果あいう表が作成されて、点数が決まつて、東京都歯科医師会としてひな形ができるわけです。そういうことを知らずして、目先の利益だけを追つて、こつちのほう

が得だから、こつちの団体に入るといいのはいかなるものでしょうか。ただ、私も保険医協会にも入っています。いろいろな情報がファクスで送られてきますので、入ってい

るんです。しかし、歯科医師会とか歯科医師連盟が活動をして、成果を上げて、会員が負担をして、それなりのものを得ているわけです。会員が負担したもののひな形を非会員の先生が使っているということは、負担なしに利益だけこうむっていることになりま

す。連盟にしても、歯科医師会にしても、活動をわかりやすくもつとアピールしていくという意味で、広報が大事なんじゃないかと思

司会 これから多くの先生に会員に入ってもらうように、また連盟から会員が離れ



ないように、なおかつ歯科医師会に入っても、連盟には入らないよという会員が出ないように、どうしたらいいかい
ろいろ考えてもらわないといけない。上があって、下もないければ組織にならないわけ
ですし、下の人たちが納得で
きないのであれば、それは絶
対発展しないと私は思うん
です。だから、自分たちだけ
がわかっていて、おまえた
金だけ出してればそれでい
いんだという考えではやつ
てほしくないと思います。そ
ういふふうに思わないよう
に、これからどうしたらよ
いかを、今の新しくなった
先生たちはよく考えていた
だと私は思っています。

非会員の先生については、私も高橋先生の言ったこと
にすごく賛成です。歯科医
師会に入るメリットははつ
きり言わなくて、現実には
いろいろな雑用が多くなる
わけです。夜遅くまで自分
たちが歯科医師会に行つて
何かやらなければいけない
ときも、非会員の先生たち
は、診療しているんです。
連盟で保険の点数などを
活動しても、その人たちは
全然そういうことをしな
いで、なおかつ、私に言わ
せれば、のうのとやってい
るところがあります。です
から、そういうところもも
うちょっと考えてほしいと
思います。どうしたらそう
いうのが少なくなるか。保
険のレセプトを見る上でも
政治的に何かもうちょっと
考えてほしいなと思ってい
ます。皆さんの意見はどう
ですか。

篠原 今までは非会員対策
を対決するような姿勢でや
ってきた、決して増えてい
ない。どんどん減っています。
逆にもっと取り込む形をと
ってあげたほうが、私はい
いと思うんです。会館の負
担金の問題もあるだろうけ
れども、入りやすい条件に
していくのが第一で、決し
て対決していくことが非会
員を会員にすることはな
らぬだろうと思いま

魅力があると。それをどう
いう形で広報活動をして、
患者さんたちを啓蒙して
いくかわかりませんが、会
員の先生方がやっている活
動を区民の人に知らしめ
て、会員の先生方にはこ
ういうことをしているん
だ、立派なんだと思われ
れば、非会員の先生も、や
はり入会しておいた方が
いいかな、一緒にあいう活
動をしたら、一緒にいい活
動が出来るんじゃないか
と思つてくれるんじゃない
か。そう思うようにしてい
くことのほうが大事では
ないかと思つています。

古宮 広報のやり方はす
ごく難しいと思うんです。
本会のホームページの立ち
上げをちょっとお手伝いし
たんですが、それがやるか
という問題から始まって、
どれだけ予算を持ってこれ
るかなどの問題があつて、
本会の広報の環境としての
ホームページはほとんど
ストップしてしまつていま
いるのが現状です。区民
へのアピールも、「歯科医
師会」の先生なら安心で
す」というようなスローガ
ンをどこかの広報誌に広
告するのも無理だろうし
……。

「歯科医師会員であることの意義」

古宮 広報のやり方はす
ごく難しいと思うんです。
本会のホームページの立ち
上げをちょっとお手伝いし
たんですが、それがやるか
という問題から始まって、
どれだけ予算を持ってこれ
るかなどの問題があつて、
本会の広報の環境としての
ホームページはほとんど
ストップしてしまつていま
いるのが現状です。区民
へのアピールも、「歯科医
師会」の先生なら安心で
す」というようなスローガ
ンをどこかの広報誌に広
告するのも無理だろうし
……。

島田 ただ、実際にやつて
いるわけだから……。今、
うちの前の病院を見ている
と、車いすで病院に送つて
くれるサービスの車がひ
っきりなしに来るんです。
その歯医者バージョンが
ありまして、隣のうちに
「〇〇歯科診療所」とい
うワゴン車が来て入つて
いくんです。業者に電話
して頼んでいるわけでは
ない。私は嫌われているの
かもしれない。(笑)それ
よりも、歯科医師会が余
りに入っている先生は努
力しているんだと思つて
もらつて、患者さん側から
自然と差別化される方向
に行くほうがいいと思つ
たんです。

司会 これからの連盟活動
についてもう少し話してい
ただければと思います。
篠原 献金先を明示して、
その後、政党とか応援し
てい議員が委員会という
発言をしていくか、一チ
ェックして、報告してい
くことが連盟の活動とし
て必要なんじゃないか
と思つています。それで
献金の必要性とか、妥当
性が会員の先生にもわか
るんじゃないかと思つて
います。それが可能かど
うかわかりませんが、

島田 今までは、自民党
一辺倒で来ていました。趣
旨が合ったから、そう
なつていたと思うんです
が、今はいろいろ変わ
ります。こういう時
代は、必ずしも自民党
一色でなくて、政
党にとらわれず、
趣旨が伝わるよう
な議員さん

りにも知られていないのは
驚きです。あれだけ立派な
ことをやっているのに、知
っている人は一回利用し
たりピーターぐらいで
す。だから、パ
ンフレットを待合室に
置いておいたら、こんな
こともやっているのかと
いうことで、もつとみ
んなに知ってもらうのが
大事じゃないのか。
そこで非会員と対決
するんじゃないで、
歯科医師会
でやっている先生
たちはそれだけ
一生懸命立派な
ことをやって
いるんだとい
うことをア
ピールするの
も一つの差
別化になる。
なおかつ患
者さんが選
んでくれる
医院になれ
ば、非会
員の人も
歯科医
師会に入
ったほう
がいいか
なと思
えてくる
と思つて
います。あ
つちは
点数を
低くし
て、こ
っち
は上
げると
露骨に
対決
するん
じゃ
なく
て、や
つて
いるこ
とが
すば
らしい
こと
なん
だか
ら、
それ
をも
つと
アピ
ール
して、
区民
の人
たち
に
歯
科
医
師

座談会を聞いて



今回の日歯連盟の不祥事
に関しては、歯科界内部
からの情報が始ど無く、
正確かどうか分からない
メディアの情
報頼りの中で意見を述
べるのと云うのはなかな
か難しかった

を推す方向でもないん
じゃないかと思つていま
す。
高橋 全く個人的な意見
ですが、自分は現状のま
までもいいと思つていま
す。公になつてしまつた
からといって、透
明化がどうの、情報開
示がどうの、必要もな
いと思つています。でき
れば、会務の
ための会
務、せい
肉、時
間の
むだな
などを
極力減
らして
いた
だいて、
私たちが
払う会
費が減
ることを
強く希
望いた
します。
会費の
値下げ
を要求
しま
す。

古宮 区議会議員、都議
会議員、国会議員も、
応援するからには、ど
ういうな
事を歯
科界の
ために
したか
を報告
してもら
う必要
がある
と思つ
ます。応
援した
から、こ
れだけ
頑張つ
てくれ
たんだ
という
気持ち
になる
ように。
私は個
人的に
平沢先
生のフ
ァンな
ので、
いろいろ
お話を
聞いたり
しますが、
なぜ自
分がこ
れだけ
嫌われ
ていま
す。自
民党に
いるか
という
お話を

座談会の中で従来の連盟活動
に対する批判はあつても、
前会長に対しては同情的な
意見が目立ちました。
今回の事件には、恐らくメ
ディアが報道している内
容より複雑で複合的な背
景があるのではないかと
思っています。日歯連盟
も今回の事件は、個人的
なものとして、会
員は決
してそ
うは
思つて
いない
のでし
ょう。
座談会
の中
でも従
来の連
盟活動
に対
する批
判はあ
つても、
前会
長に対
しては
同情的
な意見
が目立
ちまし
た。

していただいたときに、
いろいろな政策をやるに
は与党に
いなければ
意見が
取り上
げられ
ないか
ら、窓
際じゃ
なく、
窓の外
にぶら
下がつ
てもい
う表現
をされ
ていま
した。し
たが、
与党に
いる人
を推す
しか
ないの
が現状
なかと
思いま
す。
連盟の
会長に
は、自
動的に
献金し
て応援
するん
じゃな
く、折
衝の手
腕があ
る、人
物にな
つてい
ただけ
なと思
います。
献金の
額面は
公表し
てもら
わな
いと思
うん
です。
が、献
金の額
まで未
端の会
員の意
見を聞
くと、
まとま
らな
くなつ
てしま
うと思
うので、
そこま
では無
理じゃ
ないか
と思つ
ます。

司会 なるべく末端の
会員に情報がよく
わかるようにして
ほしいというのが
一番だと思
います。
きょうは
どうも
ありが
とう
ござい
まし
た。

金子 節
思つていないのでし
ょう。座談会
の中
でも従
来の連
盟活動
に対
する批
判はあ
つても、
前会
長に対
しては
同情的
な意見
が目立
ちまし
た。

保険医定年制の実現



今日、最優先の課題はな
にわさ
ておき、
歯科医
師需給
問題の
解決で
あり、
会員は
当然の
ことな
がら非
会員も、
その目
立ちま
した。
今回の
事件に
は、恐
らくメ
ディア
が報道
してい
る内容
より複
雑で複
合的な
背景が
あるの
ではな
いと思
います。
日歯連
盟も今
回の事
件は、
個人の
ものとし
て、会
員は決
してそ
うは
思つて
いない
のでし
ょう。
座談会
の中
でも従
来の連
盟活動
に対
する批
判はあ
つても、
前会
長に対
しては
同情的
な意見
が目立
ちまし
た。

は言い過ぎでしょうか。最近
は政治献金の方に焦点がシ
フトしてしまつております
が、裁判は公益側の委員に
対する贈賄の点で争われて
いる事を忘れてはならない
です。
今回は時間が無く、今後の
連盟活動の在り方について
触れられなかったのは残念
でした。これまで『政治は
綺麗事では済まない』と云
う事を何度と無く耳にしま
した。しかしそれはある種
の本音ではあつても決して
前提であつてはならず、や
はり合法的な活動を地道に
続けるしかないのだと思
います。前述の様に、歯
科界の政治基盤は決して
十分なものと云え
ませんので、その分
献金で補う事は必要
でしょう。しか
し、あまりそれに依存し
過ぎしてしまうと、会
員からは活動の内容
が見えな
いと云
う事な
つてし
まい、
理解を
得る事
が難し
くなり
ます。ま
た、私
たちは
連盟に
対しあ
まり過
大な期
待をす
るのも
どうか
と思
いま
す。現
实的に
は誰も
現状を
打開す
る策を
持つて
いない
中で活
動を進
めている
ので
す。

座談会の方は、最後に連盟
の脱会問題から
歯科医
師会未
入会問
題へと
思われ
る展開
を見せ、
結果と
して峻
別の困
難さを
示した
様です。
久しぶ
りの連
盟の座
談会で
したが、
今後も
時局問
題に対
してメ
ッセー
ジを送
り続け
る事を
お願い
したい
と思つ
ます。

需給入口会員数に
関しては、
歯科学
生定員
の削減、
国家試
験のレ
ベルチ
ェンジ
等の措
置が実
行され、
それな
りの効
果があ
つたか
と思
えるが、
出口高
齢会員
に對し
ては、十
数年前
のN総
研によ
るシユ
ミレー
シヨンの
（何の
トレイ
スもな
かつた）
以来一
昨年、
白田執
行部下
、諮問
された
保険医
定年制
が提案
された。
がし
かし、
そのシ
ステム
は理不
尽解決
の一日
もはや
いこと
を願つ
ていま
す。マ
ッタな
しであ
る。
本来そ
のことが、
日本歯
科医
師会、
日歯連
盟の果
たすべ
き役割
であつ
たはず
である。
しかし
これと
いった
具体的
な施策
もなく、
無為に
時が流
れてい
く。

田中幸光

歯会計担当理事は
大企業
のそれ
に匹敵
すると
表現さ
れてい
る。
ならば
その経
済的ア
ドバン
テージ
は今非
のこと、
需給問
題とし
て保険
医定年
制に対
する基
金とし
て、発
足させ
ることを
切望し
たい。年
金問題
不安に
加えて、
政党政
治は行
き詰まり、
資本主
義経済、
デモク
ラシー
もその
欠点を
必要に
露呈さ
せてい
る。この
混乱す
る世相
世情の
中、行
き先
に對す
る不透明
感にさ
いなら
ぬで、
検討に
値する
もので
はない。
この際、
日歯、
日連盟
ともに、
再統合、
事業縮
小を計
る必要
があろ
う。
一方、
日歯、
日連盟
では年
間約二
十億の
会費が
あり、



（一面より）
三 評議員会、支部長・代表者会、躍進の集い、都歯連盟会報の十二分な活用を願う。

四 文章の全会員に対しての郵送は、費用が嵩み現時点

連盟の隠密

―東京都歯科医師連盟の苦悩―

平素は、都歯連盟青年部の活動に対し、ご理解とご協力をたまわり、心より感謝申し上げます。青年部の協議機関といたしまして、常任部員で構成される**青年部常任部会**がございます。常任部会は、本部と各地区（支部）の接点としての役割を担い、各地区での連盟活動における様々な問題点を採り上げ、対策を協議し、本部（都歯連盟理事会）に報告をしております。青年部は、評議員会や支部長・代表者会とは別に、各地区の実態を報告する、いわば「隠密」の役割を担っているとご理解いただければ幸いです。

昨年、参議院選の後援中止後は、青年部の活動も停止状態にありましたが、連盟のあり方や今後の活動方針などを考えておく良い時期と考え、本年度は常任部会を平成十六年七月二十二日（木）と平成十六年十一月二十四日（水）の二回開催し、活発な意見の交換をいたしました。一回目の常任部会では、一連の事件後の会員の声をまとめる事が決議され、それを承けて、後日、日歯連盟に対する要望および連盟のあり方について意見を集めたものを「まとめ」として本部に報告いたしました。二回目の常任部会では、報告について本部から回答がなされ、あらためて都歯連盟は一連の事件とかわりがないとの説明を受けました。

しかしながら、会員の連盟離れの実態は深刻な問題で、対策は講じるものの、現状を打開できずにいる苦悩があるのも事実であります。もちろん、会員自身が連盟を理解していく事も必要ですが、連盟側も会員に理解してもらえるにはどうしたら良いかを真剣に考える時期である事も認識しておかねばなりません。

そこで、青年部の活動を通じて知りうる都歯連盟の苦悩の一面を、**青年部常任部会報告**から一部を抜粋し、お伝えしたいと思えます。これにより、会員の先生方が「連盟のあり方」を再考され、歯科医師会がより健康的な組織になる事を期待しております。

凡例…
太字行は会員の声
は都歯連盟の回答
は青年部での協議意見
一、**歯科医師連盟**がどのような活動を行っているのかよくわからない。

検討委員会、峻別検討委員会、規約検討委員会、真相究明委員会）に出向し検討中の説明を受けた。
又、都歯連は、副会長が日歯連の各種委員会（連盟活動改革検討委員会、財務

都歯連盟青年部部长 杉山 征三

このような意見を日歯連盟に直接上げる事はむずかしい。活動内容は、会報などの会員向けの情報誌に書いてあるので、「よくわからない」では許されないであろう。会報を読んでもらいたい。特に都歯連盟会報86号の「連盟とはなんだ？」がとても参考になると思う。

ある事をよく知っていてほしい。
現在、峻別問題が審議されているが、日歯連盟と都歯連盟の峻別たる事を最初に会員に言っていたらどうか。峻別とは人事・会計・事務を別にする事だけではなく、双方がお互いにきちんと意見を言える立場にある事と考えられる。会員にわかりやすい、風通しの良い組織の再構築が望まれる。

「風通しが良い」というのは、末端まで情報がきちんと伝わるシステムのことであり、本部では各支部宛てに情報や資料は常に送っているし、説明も行っている。各支部では情報を会員に伝えていないのだから。若い先生への啓蒙も、連盟活動に積極的にかかわってもらうのも、各支部の裁量にお任せするほかない。

会員の半数以上が連盟に無関心であり、「連盟の活動がよくわからない」という意見がとて多いのは事実である。無関心な人が会報を読んでいる可能性はかなり低く「会報を読んでいるのは許されない」では解決にはならない。会報に興味を持ってもらうために、もっと宣伝が必要なのだろうか。

二、**日歯連盟と都歯連盟は違うのか？都歯連盟は日歯連盟の下部組織なのか？**
一連の事件で日歯連盟と混同視されているのは、非常に迷惑な話である。今回の事件では都歯連盟はむしろ被害者であり、もともと日歯連盟と都歯連盟とは、別々な組織で

若い世代の政治離れ、連盟への関心の低さに対する基本的な対応策に欠けているのではない。本会と連盟の役割分担を明確にし、情報伝達の新たなシステムの確立は本来執行部の役割なのではないだろうか。他人任せの結果、「連盟側の報告や回答を待つ」という消極的な姿勢を生んでいるような気がする。

三、**日歯連盟は、都歯連盟を通じて会員（支部）に対し、その後の対応や経過を紙面で順次報告すべきである。それにより改善のよう**

すが目に見えて来るであろうし、不透明さが少しでもなくなるであろう。また、通信コストを掛けずに、FAXで各支部に送るか、若い会員にはホームページに載せるだけで十分に伝わると思う。

日歯連盟ではどう考えているかわからない。都歯連盟では、各支部の会長宛に情報はお伝えしている。FAXにしてもインターネット（ホームページ）にしても事務局にさなる負担を強い事になるし、時間も取れない。本部から送られた情報を支部単位で確実に会員に伝達してほしい。どこかで情報が途絶えるから、不透明になってしまっているのではないだろうか。

事情はわかるが、ここでも人任せにとどまらず、情報が末端まで伝わったかどうかを把握できてもよいのではない。執行部から支部へ、支部から会員各位への伝達はそれほど難しいプロセスは必要としないはずである。FAX速報などのシステムは、会員それぞれがその気になればすぐに実現すると思う。

青年部の活動を通じ、都歯連盟の「改革を考えてはいるが、現状維持もやむを得ない」というジレンマを感じております。隠密として裏側から見える現実には、連盟の信用を取り戻すためには、会員一人一人の意識にかかるとも大きいようです。これを機会に会員の皆様「連盟のあり方」をもう一度考えていただければ幸いと存じます。

コーヒープレイク

秋も深まり食欲、読書によい季節となったが、我々歯科医師、特に連盟に関する話題は、暗い話がいまだに続く。新聞を読んでも暗くなり、食事をしても成人病が気になるのでは、健康的ではない。色々と思いつくが、流行っているが、どうやら喜怒哀楽の気持ちを持つことは精神にとつて特にいいらしい。そこで少しでも明るくなれる話題として、いまさらながら読書のご紹介。

近頃ゆつくりと本を読むこともなく、新聞と雑誌の乱読愛読者だったのだが、最近、直木賞をとった奥田英朗著の「空中ぶらんこ」という、小説を読んだ。小説を読んで声に出して笑って吹いてしまったのは、はじめてである。なおかつ主人公のドクター伊良部にぞつこん惚れこんでしまった。歯科医師や、医師は患者者にとっては、ある意味話し相手であり、ゆつくり話をするだけで、病んでいるものが治まる事もある。現実には、精神力、忍耐力のいる作業だが、この小説の主人公の精神科医、伊良部先生は患者も驚くようなどうしようもないキャラクター。先端恐怖症のヤクザでも、ノイコン病に陥ったプロ野球投手でも、空中ブランコが飛べなくなったサカス団員の患者でも治療はビタミン注射のみ。それも毎日ビタミン注射を打つばかり。それなのに、患者はなぜか伊良部先生のとへ通い詰めてしまう。それも毎日、病院に足が向いてしまう。そしていつしか、精神障害もあきれて完

治してしまふ？もちろん小説の中の話である訳だが、色々な症状の患者と伊良部先生の掛け合いが、絶妙で実にフレンドリーなのである。そんな精神科なら自分も伊良部先生に診てもらいたい気分である。だれもが？精神的ストレス多々ある中で、開業している我々歯科医師も、狭い医院の中、毎日患者さんと、スタッフの小さな社会で何から何までこと細かく、嗚呼。これでは肩もこるし、腰も痛いし、ストレスもたまる。おまけに、無趣味だし。ゆつくり海外旅行でもしてみたいが、飛行機が苦手。のんびり温泉でも行きたいけれども、週末は予約がとれない。来年度のいつ温泉に行きたいかなんて、今決められない。いっそのこと長い休みなど、恐ろしくてとれない。忘年会の計画も毎年、悩みの種。そんな日々、足早に過ぎて最近、やけにひと月が早い。あつという間に、またレセプト。

今年は、火山噴火や度重なる台風上陸、新潟の大地震という異常気象の連続、不景気も治まりを見せず、連盟の話題と言えば、いまだに新聞報道による、悪い知らせばかり。これではストレスもたまり、伊良部先生が、実在しないかぎり、小説でも読んで、笑って明日からがんばるしかないでしょう。精神と肉体の疲れを感じている先生方に、メンタルセラピーとして、おすすめの方箋となる一冊でした。

小澤 薫

要 望 書

今般の日本歯科医師会白田会長他四名逮捕の報は、日歯百年の歴史の中で、嘗てない憂うべき出来事であり、今まで培ってきた地域歯科医療への会員の努力を覆すと同時に、会という組織はもとより歯科界全体をも崩壊させるほどの危機である。この事態の收拾を図るためには、歯科医療に対する国民の信頼回復が第一の要件であることから、日本歯科医師連盟は原点に立ち返って会務執行に当たるのは勿論のこと、国民ならびに会員にとつて納得の行く新しい組織の構築に努め、自ら襟をただし組織の自浄に努めることが必要不可欠のことであると考える。

私ども東京都歯科医師連盟は左記事項の早期実現を図り、一刻も早い事態の收拾を強く要望する。

記

- 一、国民に対する謝罪
- 二、日本歯科医師会と日本歯科医師連盟の職務の峻別
- 三、組織の危機管理体制の強化を含めた事務機構の刷新
- 四、日本歯科医師連盟会費の値下げ

平成十六年五月六日

日本歯科医師連盟
会長代行 大森 一昌殿

東京都歯科医師連盟
会長 柳澤 信道